

広島県感染症発生動向月報

〔 広島県感染症予防研究調査会 〕
(令和6年5月解析分)

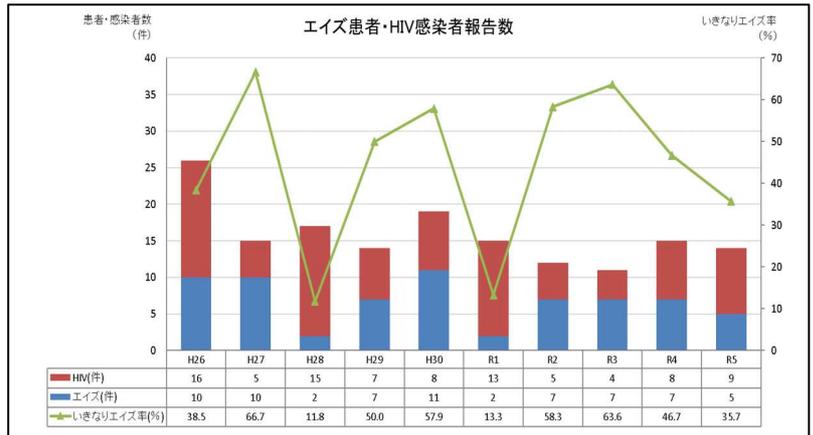
1 今月のトピックス

6月1日(土)から6月7日(金)は「HIV検査普及週間」です!!

県内の令和5年の新規エイズ患者数は5人、新規HIV感染者数は9人と例年並でした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う検査機会の減少などの影響で、保健所等における検査件数は減少していましたが、令和4年以降は増加傾向にあります。検査件数については回復しつつありますが、無症状感染者が十分に把握できていない可能性には留意する必要があります。

HIVに感染しても自覚症状のない時期が数年間続くため、その間に感染を発見し治療することで、エイズ発症を予防したり、遅らせることが可能です。

保健所検査や日曜検査、クリニック検査など、利便性の高い場所や時間帯に配慮した検査体制を構築しており、広島県のホームページから日程等を確認できます。検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検してください。(※原則、梅毒検査も併せて実施します。)



check 予防のポイント

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、感染力が弱く性行為以外では日常の生活の中で感染する心配はありません。

正しい知識を持って、しっかりと対策をしましょう!

- 1) 性行為(精液・膣分泌液): 感染者との無防備な性行為は感染の可能性が高い
 - ・性交・オーラルセックス(口腔性交)の際は、必ずコンドームを使う
 - ・性器具の共用をしない
- 2) 血液を介して: 血液にふれることや、血液が体内に入ると感染の可能性が高まる
 - ・注射器具の共用をしない
- 3) 母親から赤ちゃんへ(母子感染): 妊娠中・出産時・授乳などによって子どもに感染することがある
 - ・予防措置[服薬、帝王切開、人工栄養(粉ミルク)での養育]を行う

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年4月分(令和6年4月1日～令和6年5月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	926	1.68	1.16	↓	11	ヘルパンギーナ	12	0.04	0.07	↑
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	1,296	2.35		↓	12	流行性耳下腺炎	11	0.03	0.07	↑
3	RSウイルス感染症	446	1.32	0.57	↑	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	咽頭結膜熱	244	0.72	0.33	↔	14	流行性角結膜炎	68	0.72	0.40	↔
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	911	2.70	0.78	↔	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	感染性胃腸炎	1,480	4.39	4.55	↔	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	水痘	37	0.11	0.11	↔	17	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.04	
8	手足口病	157	0.47	0.12	↔	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	6	0.02	0.09	↔	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.47	
10	突発性発しん	86	0.26	0.28	↔	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年4月分(4月1日～4月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	64	2.91	3.20	↔	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	66	3.14	3.10	↔
21	性器ヘルペスウイルス感染症	18	0.82	0.97	↔	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0.24	0.16	
22	尖圭コンジローマ	25	1.14	0.80	↑	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
23	淋菌感染症	21	0.95	1.16	↔	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.47 → 1.32)
 ヘルパンギーナ (0.01 → 0.04)
 流行性耳下腺炎 (0.01 → 0.03)
 尖圭コンジローマ (0.41 → 1.14)

○急減疾患 インフルエンザ (13.96 → 1.68)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について, 県内177の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	68	19	22	21	173

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	34	結核(34)[西部保健所(4)、西部東保健所(2)、東部保健所(10)、広島市保健所(11)、呉市保健所(2)、福山市保健所(5)]
三類	0	発生なし
四類	5	A型肝炎(1)[広島市保健所(1)] レジオネラ症(3)[西部東保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(1)] 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)[北部保健所(1)]
五類	40	アメーバ赤痢(1)[西部東保健所(1)] ウイルス性肝炎(1)[福山市保健所(1)] カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(7)[東部保健所(2)、北部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(3)] ジアルジア症(1)[広島市保健所(1)] 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(6)[東部保健所(1)、広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)] 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)[西部保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(1)[呉市保健所(1)] 播種性クリプトコックス症(1)[呉市保健所(1)] 梅毒(21)[西部保健所(3)、東部保健所(2)、広島市保健所(6)、呉市保健所(1)、福山市保健所(9)]

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2024年4月30日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
二類	結核	19	37	26	34									116
	小 計	19	37	26	34	0	0	0	0	0	0	0	0	116
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	2	0									9
	小 計	2	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
四類	E型肝炎	1	0	1	0									2
	A型肝炎	0	0	1	1									2
	エムボックス	0	0	0	0									0
	つつが虫病	0	0	0	0									0
	デング熱	0	0	1	0									1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1									1
	日本紅斑熱	0	0	0	0									0
	日本脳炎	0	0	0	0									0
	マラリア	0	0	0	0									0
	レジオネラ症	4	3	2	3									12
	レプトスピラ症	0	0	0	0									0
	小 計	5	3	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	18
五類全数	アメーバ赤痢	0	0	0	1									1
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1	1									2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	2	4	7									17
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0									0
	急性脳炎	4	1	2	0									7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0	0									2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	2	4	6									19
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0									0
	ジアルジア症	0	1	2	1									4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1									1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1	0									1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	0	4	1									9
	水痘(入院例)	0	2	1	0									3
	破傷風	0	0	0	0									0
	梅毒	20	19	29	21									89
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	2	0									4
	百日咳	2	0	2	0									4
	風しん	0	0	0	0									0
	播種性クリプトコックス症	1	1	0	1									3
	麻しん	0	0	0	0									0
小 計	43	31	52	40	0	0	0	0	0	0	0	0	166	
合 計		69	76	85	79	0	0	0	0	0	0	0	0	309

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類 :	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類 :	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類 :	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類 :	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数:	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和6年4月1日～5月21日

資料作成：令和6年5月22日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
126	166	92	55	19

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
つつが虫病疑い	SFTSウイルス	1	1	血液	R6. 5月	70代	西部
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチャ	6	10	血液, 痂皮	R6. 4月～5月	50代～80代	東部, 東部(福山), 福山市
ダニ類媒介感染症疑い	SFTSウイルス	2	2	血液	R6. 4月	50代, 60代	呉市, 北部
	日本紅斑熱リケッチャ	11	18	血液, 痂皮, 皮膚組織	R6. 4月～5月	50代～90代	西部, 東部
エムボックス疑い	水痘帯状疱疹ウイルス	1	4	皮膚病巣拭い液, 痂皮	R6. 4月	30代	東部
デング熱	デングウイルス2型 ※	1	2	血液, 尿	R6. 4月	60代	福山市

※フィリピンからの渡航者から検出されました。

3 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	13	13	鼻咽頭, 咽頭	R6. 4月～5月	1～50	西部東, 東部
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	咽頭	R6. 4月	4	東部
	B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	11	11	鼻咽頭, 咽頭	R6. 4月	4～40	東部, 東部(福山), 北部, 福山市
手足口病	コクサッキーウイルスA10型	1	1	咽頭	R6. 4月	1	東部
RSウイルス感染症	RSウイルス	4	4	鼻咽頭	R6. 4月	0～3	西部東
	RSウイルス+ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R6. 4月	0	西部東
	RSウイルス+アデノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	1	西部東
感染性胃腸炎	ノロウイルスGII.7	1	1	便	R6. 4月	1	西部東
咽頭結膜熱	ヒトコロナウイルス229E+アデノウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	6	西部東

4 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	パラインフルエンザウイルス1型	1	1	鼻咽頭	R6.4月	2	西部東
	パラインフルエンザウイルス3型 +ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.4月	1	西部東
	アデノウイルス5型	1	1	鼻咽頭	R6.4月	1	西部東
下気道炎	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.4月	0	西部東
	RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.4月	1	西部東
	RSウイルス+ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R6.4月	1	西部東
	メタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.4月	8	北部
	パラインフルエンザウイルス1型	2	2	鼻咽頭	R6.4月	0,2	西部東
	パラインフルエンザウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R6.5月	4	西部東
	パラインフルエンザウイルス3型+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.4月	1	西部東
	ヒトコロナウイルスHKU1	2	2	鼻咽頭	R6.4月	1	西部東
メタニューモウイルス感染症	メタニューモウイルス	2	2	鼻咽頭	R6.4月	0,2	西部東
発疹	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R6.4月	4	北部
	ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R6.4月～5月	3,5	北部
	メタニューモウイルス+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.4月	0	北部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報 (ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

5 保健所別検査依頼受付状況 (検体採取期間：令和6年4月1日～5月21日)

保健所地区	検体数	疾患名 (検体数)
西部	18	ダニ類媒介感染症疑い(4), デング熱疑い(2), 麻疹(成人)疑い(12)
西部(広島)	0	
西部(呉)	0	
西部東	37	ダニ類媒介感染症疑い(1), 新型コロナウイルス感染症(1), 手足口病(1), 感染性胃腸炎(2), 咽頭結膜熱(1), RSウイルス感染症(9), 上気道炎(3), 下気道炎(16), メタニューモウイルス感染症(3)
東部	73	ダニ類媒介感染症疑い(39), エボラウイルス疑い(4), 新型コロナウイルス感染症(17), インフルエンザ(10), 手足口病(2), 流行性耳下腺炎(1)
東部(福山)	7	ダニ類媒介感染症疑い(4), 新型コロナウイルス感染症+インフルエンザ(1), インフルエンザ(2)
北部	8	ダニ類媒介感染症疑い(2), インフルエンザ(1), 下気道炎(1), 発疹(4)
福山市	17	ダニ類媒介感染症疑い(13), デング熱疑い(2), インフルエンザ(1), 下気道炎(1)
呉市	6	ダニ類媒介感染症疑い(3), 下気道炎(3)